

医療法人 弘池会 口之津病院

住 所:南島原市口之津町丁5615

院長 池永 剛

電 話:0957-86-2200

当院は、1989年(平成元年)11月に南島原市口之津町国道251号沿いに開院し、2024年に35周年を迎えました。

4名の常勤医師と1名の内科非常勤医師で、循環器・消化器・呼吸器疾患など慢性疾患を主とした一般的な外来診療と長崎大学病院各科のご協力で非常勤医師による整形外科(土曜日・第2・4木曜)、皮膚科(不定期ですが月1-2回土曜日の予定で24年秋から開始)の専門医師による外来診療を行っています。移植・消化器外科医局からは週末や休日などの当番・当直の応援もいただいています。

地域包括ケア27床、医療療養62床、介護医療院30床で当院外来からや、貴院などの高次医療機関からの患者様の入院に急性期から慢性期さらにお看取りに至るまで対応しています。

今後も地元の皆様のご支援のもと微力ながら地域医療に貢献できるよう努めて参りたいと存じます。

開院以来、小浜温泉病院(国立病院の時代から)各科の先生方やスタッフの皆様には大変お世話になっております。

適切で的確な診療、詳細な診療情報の提供など感謝しております。

あらためて御礼致します。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

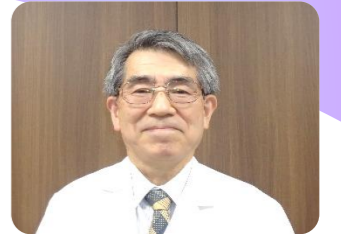


ジャカランダ



新年のご挨拶

院長 井手 孝



皆さん、明けましておめでとうございます。

2025年の輝かしい新年が明けました。私は、当院の院長として10回目の新春を迎えております。とても感慨深いものがあります。

昨年、国内では元旦から能登半島地震が発生し、8月には宮崎県地震、9月には能登半島に再度の災禍となった集中豪雨が襲いました。私たちの周りでも温暖化が一層きつくなり真夏の酷暑、ゲリラ豪雨、そして秋を通り越して一気に真冬がやってきました。世界規模で異常気象が増加しています。感染症についても、温暖化が関連すると予想されておりますがインフルエンザ感染症や新型コロナウイルス感染症は終息することなく猛威を奮っております。他の新型感染症にも注意が必要になってきます。私はこれら大変動には到底立ち向かえませんが、病気に対しましては努力を惜しまず威風堂々と立ち向かいたいと強く思っております。

本年は干支乙巳(きのとみ)です。干支である巳(蛇)にまつわる諺(ことわざ)で「脱皮して以て大蛇となる」というものがあります。これは蛇が皮を脱ぐように、成長するためには過去の自分を脱ぎ捨てて新しい理想の自分に生まれ変わるのが大切であるというものです。2025年が当院にとって「脱皮して以て大蛇となる」の年であるように、「努力を重ね、病気から皆様の心身を守り安定させる」年にしていきたいものです。

今後も当院が雲仙・南島原両市の地域医療を支える中核病院として責務を果たすため、南高医師会並びに関係医療機関の皆様と手を携え、地域との連携強化を図りながら、患者さん・医療者間のより良い関係を構築して参ります。

本年も患者さんに必要とされる病院であり続けるため、そして全ての皆様に必要な医療を届けられるように、全職員が手を取り合い、一丸となって皆様の日常と健康を守る所存です。どうぞ変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次 Contents

- ・「新年のごあいさつ」 ……院長 井手 孝
- ・「研修報告 No.1」 ……透析室副主任 森川 慎也
- ・「研修報告 No.2」 ……透析室看護師長 横山 由佳
- ・「NEWS」 ……糖尿病・透析予防診療チーム
- ・連携医療機関のご紹介 ……(医)弘池会 口之津病院

研修報告 No.1

第56回九州人工透析研究会総会

開催日：2024年12月15日(日)
発表者：森川 慎也 透析室副主任

12月15日に、出島メッセ長崎にて第56回九州人工透析研究会総会が開かれ、当院透析室を代表して『透析室におけるタイムアウトの効果』という演題で発表を行ってきました。

ここでいうタイムアウトについて簡単に説明すると、透析室で起こりやすい医療事故防止のため、チェックリストを用いて指差し呼称で項目のダブルチェックを行うこととなります。

医療事故防止を目的にタイムアウトを導入し、導入前の令和4年度と導入後の令和5年度を比較すると医療事故発生率を約40%下げることができました。

また、タイムアウトで未然に予防できた、医療事故に繋がる恐れのある事象(レベル0)をスタッフ同士で共有することで、大きな事故に繋がるリスクを減らすことができていると実感できました。

当院透析室は令和2年度の新病院移行に伴い開設した、まだ新しい組織です。透析経験の少ないスタッフも多く、医療事故に繋がる事象に対する感性が乏しいのも現状としてあります。そのため、タイムアウトというシンプルでわかりやすい取り組みはスタッフに浸透しやすく効果も現れやすかったのではないかと感じました。

今後も、患者様へ安全・安心な透析治療を提供できるよう日々邁進していきたいと思っております。

森川 慎也



手前左 田所医師をはじめ、透析室スタッフ

外来診療体制変更について

津田医師

昨年8月より、病氣療養のため当面の間、休診しております。担当日は、当院、内科医師が継続して、診療しております。

長野医師

体調不良のため、循環器内科の外来診療を休診し、当院、内科医師が代診対応させていただいております。なお、紹介につきましては月・水・木曜日午前中をお願いいたします。

皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

院長 井手 孝

研修報告 No.2

東京苑田会グループ看護症例発表会

開催日：2024年9月28日(土)
発表者：横山由佳透析室看護師長
山崎智子急性期病棟主任・町田有華急性期病棟主任

9月28日、東京苑田会グループ看護症例発表会に、山崎主任・町田主任・横山の3名で参加させて頂きました。病院到着後は苑田第1病院・苑田第2病院を見学させていただきました。現在、苑田第1病院は建替え中とのことで、病院はやや狭さもありましたが、救急医療は充実しており、救急外来では看護師以外にも救急救命士が7名常駐し、協働で業務が行われていました。

24時間365日受け入れをモットーに、年間約1万台の救急車を受け入れているとのことでした。また、病院の廊下には災害用のヘルメットが多数かけてあり、地震などの災害対策への意識の高さを感じました。

看護症例発表会は、リモート形式で行われ、発表者と理事長、看護部長、関係者のみ集まり、7演題の発表がありました。当院からは『卒後3年未満の新人看護師が感じるストレス要因の実態調査』について私が看護部教育委員を代表して発表しました。どの演題も病院の特徴をとらえた内容で、地域住民のニーズに沿った活動と、より深く個々の問題と向き合い、コミュニケーションを十分にとり丁寧な看護が重要だと学びました。

短い時間の見学と研究会参加でしたが、研究会終了後は、理事長先生の患者さんに対する熱い思いを聞くことができ、大変有意義な1日となりました。今回学ばせていただいたことを今後の看護業務に活かしていきたいと思っております。参加させて頂きありがとうございました。

横山 由佳

NEWS

ちょっと

秋のウォーキングに足湯まで行ってきました

当院で糖尿病教育を中心に活動していた「糖尿病教室」が、「糖尿病・透析予防診療チーム」と名前を変え、5年ぶりにウォーキングを開催しました！

当院は橘湾沿いに位置し、周辺は温泉街もあることからウォーキングコースとしては最適地となっています。当日は天候にも恵まれ、空と海の青に癒やされながら、10名の方と足湯までのコースを歩きました。

今回は参加者お一人おひとりに、理学療法士から「運動療法」に関するお話をさせていただき、運動に対する興味を持っていただく機会にしました。

終了後には「次回も参加したい」との声を多くの参加者からいただき、次回の開催に向けて作戦会議中です。

今後は生活習慣病の方を対象に、動脈硬化などの合併症予防を目的とした個別指導や集団指導を行う準備をしています。

雲仙市・南島原市は、全国平均より高齢化率が高く、独居や老老介護世帯も多い地域なので、患者様に合わせた指導を行っていききたいと思います。

2024年11月19日(火)開催

